

タイをもっとよく知る観光キャンペーンに協力

「Amazing Thailand」とは、タイ観光のキャッチフレーズですが



有名な観光スポットだけでなく農村や都市部に住む人々も訪ねてもっと理解を深めてもらおうとのキャンペーンが推進されることになり、ドゥアン・プラティープ財団も10月3日に開かれた開会式に参加しました。

名付けて“Amazing Thailand Unseal Local 2018”。タイ政府観光局と民間会社、NGOなどの協力でスタートしました。すでに全国各地15都県とのネットワークも出来ており、財団もその訪問先の一つです。タイには日本をはじめ世界の多くの国々から観光客が訪れ、現在、タイ在住の日本人は約7万人と言われています。そうした方々に、クロントイスラムを訪れていただくことは、この国の最底辺で暮らす人々、子どもたちの現実を少しでも知ってもらい、改善して行くことに役立つでしょう。

式典には財団マネージャーのペンワディさんらが出席し、すでに約3年前から日本の旅行会社が主催する「クロントイ訪問ツアー」も積極的に受け入れていることを報告しました。

